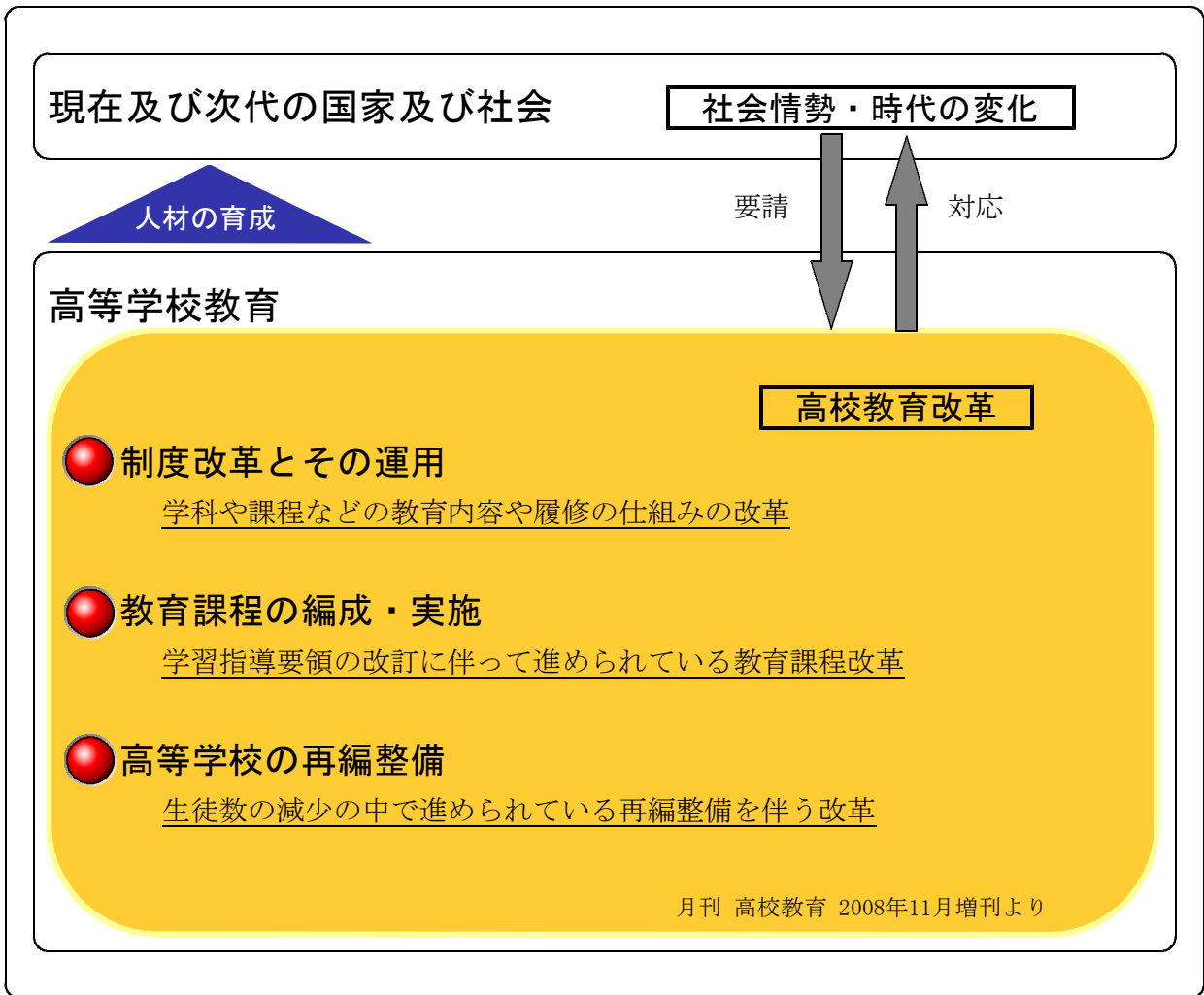


今後の県立高校に期待される教育について

平成22年11月15日
山口県教育振興推進会議資料

1 高等学校教育に求められるもの



2 制度改革とその運用

2-1 新しいタイプの学校等について

単位制	
制度や特色等	<ul style="list-style-type: none">○ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高等学校。○ 昭和63年度から定時制・通信制課程において導入され、平成5年度からは全日制課程においても設置が可能。○ 自分の学習計画に基づいて、自分の興味・関心等に応じた科目を選択し学習できること。○ 学年の区分がなく、自分のペースで学習に取り組むことができること。
総合学科	
制度や特色等	<ul style="list-style-type: none">○ 普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶものとして、平成6年度から導入。○ 幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視（総合学科は全て単位制）。○ 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視。
中高一貫	
制度や特色等	<ul style="list-style-type: none">○ 平成11年から選択的に導入することが可能。○ 従来の中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者は6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択可能。○ 中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指す。○ 中等教育学校、併設型、連携型の3つの種類がある。
学校間連携	
制度や特色等	<ul style="list-style-type: none">○ 平成5年度から制度化。○ 自校には設けられていない専門教科・科目や他校の学校設定教科・科目などの履修が可能となり、生徒の選択の幅を拡大。
総合選択制	
主な特色等	<ul style="list-style-type: none">○ 在籍している学校内において、生徒が在籍する学科やコース以外の学科等で開設されている科目を選択できる幅広い科目選択を認める仕組み

2-2 本県における高等学校教育改革の10年

最近10年間の本県での取組の中で特筆すべきものは、『生徒一人ひとりの個性を重視する選択幅の広い高校教育の推進』に向けた取組である。

具体的には、「特色ある学校づくりの推進」「入学者選抜の改善」「中学校の進路指導の充実」を3つの柱とする高等学校教育改革である。

生徒一人ひとりの個性を重視する選択幅の広い高校教育の推進

特色ある学校づくりの推進

- 教育活動の工夫改善
- 新しいタイプの学校
中高一貫教育 等

入学者選抜の改善

- 選抜方法の多様化
- 評価の多元化

中学校の進路指導の充実

- 高校の特色等の周知
- 体験入学
- 学校説明会

新通学区域の実施（平成14年度）

従前：26通学区域 → 変更後：7通学区域（現行通学区域）

高校に対する生徒・保護者の主な要望

- 自分の興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できるようにする。
- 技術、技能の習得や職業資格につながる学習を行う。
- 学校行事や部活動などの取組を活発にする。

■ 「生徒一人ひとりの夢の実現」（山口県教育ビジョン中期目標） （平成16年度～平成24年度）

一人ひとりの個性を生かし、可能性を伸ばす教育を一層推進

■ 『県立高校将来構想』（平成17年3月策定）

より質の高い高校教育の展開

- 選択幅の広い教育
- 活力ある教育活動
- 多様な人格とのふれあい

2-3 本県における新しいタイプの学校の導入状況

【凡例】（ ）内は現在開校となっている学校

年	単位制	総合学科	中高一貫	学校間連携	総合選択制	備考	
1995年 (H7)	岩国商業 〈東分校;定時制〉 山口〈通信制〉					↓	
1998年 (H10)		宇部西				新しいタイプの学校の導入	
1999年 (H11)	岩国						
2000年 (H12)		岩国総合			山口農業		
2001年 (H13)		光丘	連携 安下庄 町内3中学校	〔徳山商業〕 〔徳山工業〕	下松工業 西市		
2002年 (H14)	熊毛南 新南陽 宇部中央 萩 (奈古須佐分校)			〔萩商業〕 〔萩工業〕 →萩商工(18)			
2003年 (H15)	下関南	防府西 長府	併設 連携 高森 美祢 町内3中学校	柳井 〔柳井商業〕 〔柳井工業〕 →柳井商工(18)	防府商業		
2004年 (H16)	下関中等		中等 下関中等	萩高			
2005年 (H17)	高森						
2006年 (H18)	山口〈定時制〉				柳井商工 徳山商工 萩商工		↓ 高校の再編整備(後述)
2007年 (H19)	周防大島 青嶺 豊浦		連携 周防大島 町内4中学校		周防大島 青嶺		
2008年 (H20)							
2009年 (H21)	下関西		連携(久賀校舎)				
2010年 (H22)							

〔参考〕高校にある3つの課程

高等学校

全日制課程

- 中学校と同じように昼間の時間帯に授業を行う学校であり、それぞれに特色ある学科やコースを設置している。
- 普通科、専門学科、総合学科を設置している。

【設置校】 県立：57校5分校／市立1校／私立20校（平成22年11月現在）

※専門学科：農業、工業、商業、水産、家庭、看護、(情報)、福祉、理数、(体育)、音楽*、(美術)、外国語、(国際関係等)に関する学科をいう。
(括弧内は、県内の高校にはない学科／*：私立高校におく学科)

定時制課程

- 働きながら学ぶ人に学習の機会を確保するために設置されている。ゆとりをもって学びたい生徒等も入学している。
- 授業は、午後5時頃から9時半頃までである。昼間に授業をする学校もある。卒業するまでに通常4年間かかるが、学校によっては3年間で卒業が可能となっている。
- 普通科、専門学科を設置している。

【設置校】 県立：12校1分校／市立1校（平成22年11月現在）

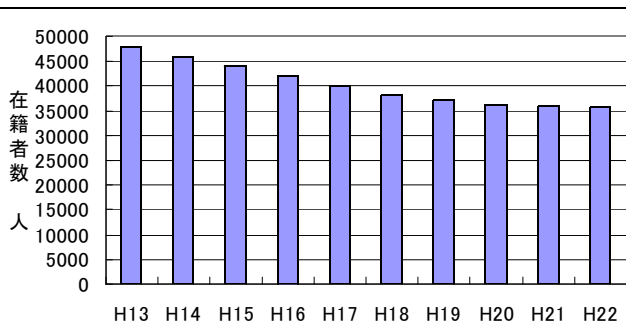
通信制課程

- 仕事やその他の事情で、毎日通学することができない人のために設置されている。
- 自宅で勉強してレポートを作成し、その添削指導を受けることを中心にして学習を進めている。2週間に1回程度登校して面接指導（スクーリング）を受ける。
- 単位制のためマイペースで勉強して、少しずつ卒業の条件を積み重ねることができる。
- 通信制課程をおく学校は1校（山口高校）である。面接指導を行うための協力校は7校ある。
- 普通科、専門学科（衛生看護科）を設置している。

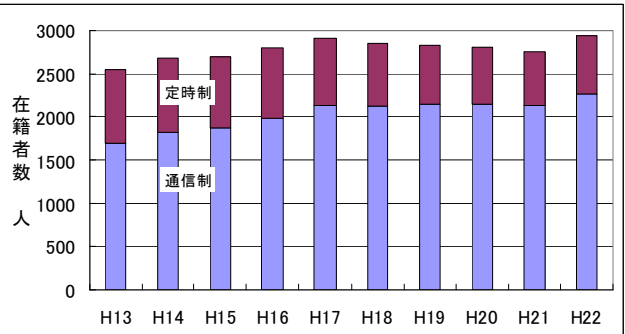
【設置校】 県立：1校／私立6校（平成22年11月現在）

県内高校の在籍者数（学校基本調査による）

全日制在籍者数（公立+私立）



定時制在籍者数（公立のみ）
通信制在籍者数（公立+私立(H15~)）



3 教育課程の編成・実施

3-1 現行の高等学校学習指導要領（平成15年度から実施）の主なポイント

<改善の基本的視点（全校種）>

完全学校週5日制の下で、各学校が「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、子どもたちに学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせることはもとより、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむ。

- 1 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成
- 2 多くの知識を教え込む教育を転換し、子どもたちが自ら学び自ら考える力の育成
- 3 ゆとりのある教育を展開し、基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実
- 4 各学校が創意工夫を生かした特色ある教育、特色ある学校づくり

<高等学校における改善>

(1) 改善の趣旨

将来いずれの進路を選択する生徒にも一定の知識や技能等を身に付けさせつつ、学校・生徒の選択の幅を広げ、生徒の興味・関心に応じ、それぞれの分野について深く高度に学びそれぞれの能力を十分伸長。

(2) 内容構成等

○ 授業時数の縮減等

- ・ 週あたりの標準授業時数 32単位→現行30単位
- ・ 卒業に必要な修得総単位数 80単位以上→74単位以上
- ・ 必修教科・科目の最低合計単位数 38単位（普通科）→現行31単位

共通必修科目：体育・保健のみ（他は選択必修）

- ・ 授業の一単位時間の弾力化

○ 教育内容の厳選

授業時数の縮減以上に教育内容を厳選。

○ 「総合的な学習の時間」の創設

各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開。

○ 選択学習の幅の拡大

各学校で独自に学校設定教科・科目を設定できる等。

○ 国際化への対応

中学校及び高等学校で外国語を必修とし、話す聞く教育に重点。

○ 情報化への対応

高等学校で教科「情報」を新設し必修。

○ 体育・健康教育

生涯にわたって運動に親しみ基礎的体力を高めることを重視。心の健康、望ましい食習慣の形成、生活習慣病の予防、薬物乱用防止などの課題に適切に対応。

3-2 次期の高等学校学習指導要領（平成25年度から実施）の改訂のポイント

1 今回の改訂の基本的な考え方

教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成

知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視

道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

2 卒業単位数、必履修科目、教育課程編成時の配慮事項等

- 卒業までに修得させる単位数は、現行どおり74単位以上
- 共通性と多様性のバランスを重視し、学習の基盤となる国語、数学、外国語に共通必履修科目を設定するとともに、理科の科目履修の柔軟性を向上
- 週当たりの授業時数（全日制）は標準である30単位時間を超えて授業を行うことができることを明確化
- 義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための学習機会を設けることを促進

3 教育内容の主な改善事項

言語活動の充実

- 国語をはじめ各教科等で批評、論述、討論などの学習を充実

理数教育の充実

- 近年の新しい科学的知見に対応する観点から指導内容を刷新
- 統計に関する内容を必修化
- 知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視
- 指導内容と日常生活や社会との関連を重視

伝統や文化に関する教育の充実

- 歴史教育、宗教に関する学習を充実
- 古典、武道、伝統音楽、美術文化、衣食住の歴史や文化に関する学習を充実

道徳教育の充実

- 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、その全体計画を作成することを規定
- 人間としての在り方生き方に関する学習を充実

体験活動の充実

- ボランティア活動などの社会奉仕、就業体験の充実
- 職業教育において、産業現場等における長期間の実習を取り入れることを明記

外国語教育の充実

- 高等学校で指導する標準的な単語数を増加
- 授業は英語で指導することを基本

職業に関する教科・科目の改善

- 職業人としての規範意識や倫理観、技術の進展や環境、エネルギーへの配慮、地域産業を担う人材の育成等、各種産業で求められる知識と技術、資質を育成する観点から科目の構成や内容を改善

重要事項

- 体育、食育、安全教育を充実
- 環境、消費者に関する学習を充実
- 情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実
- 部活動の意義や留意点を規定
- 障害に応じた指導を工夫（特別支援教育）
- 「はだめ規定」（詳細な事項は扱わないなどの規定）を原則削除

4 高等学校の再編整備

4-1 県立高等学校の現状

社会の変化と生徒のニーズの多様化

- 国際化、情報化など社会情勢が変化
- 県内中学校卒業者の約97%が高等学校等に進学
- 生徒の興味・関心や進路希望、価値観が多様化

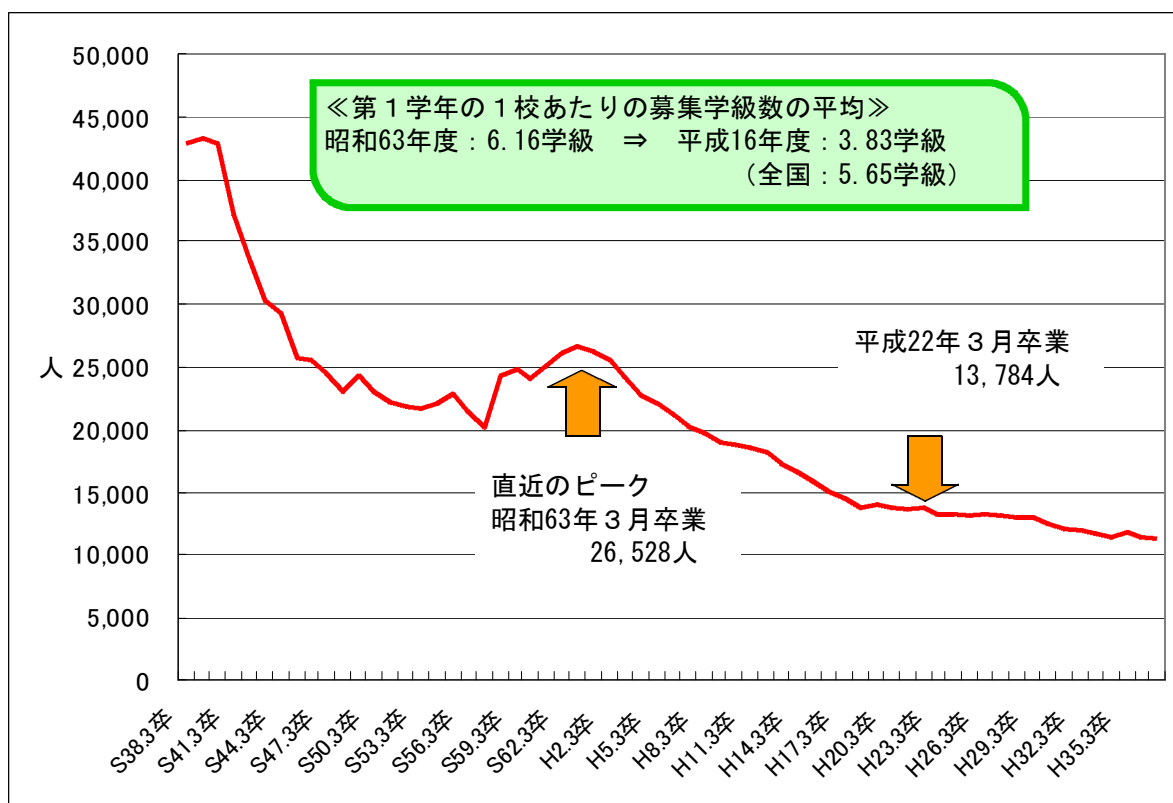
生徒・保護者から県立
高校に幅広い期待

中学校卒業（見込み）者数の減少

- 県内中学校卒業者数の減少傾向が継続中
 - 県立高等学校（昭和63年度～平成17年）*
 - 全日制：66校4分校
 - 定時制：全日制併置12校、分校1校
 - 通信制：全日制・定時制併置1校
- * 平成18年度以降、県立高校の再編整備が進行中

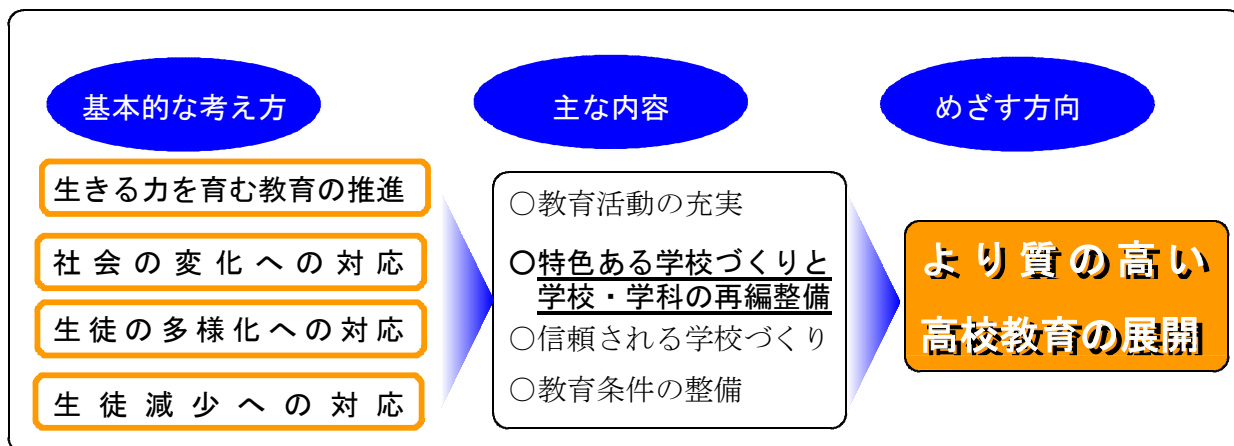
高校の小規模化が進行
⇒ 活力の低下
⇒ 生徒の切磋琢磨の
場が減少

本県の中学校卒業（見込み）者数の推移（学校基本調査等による）



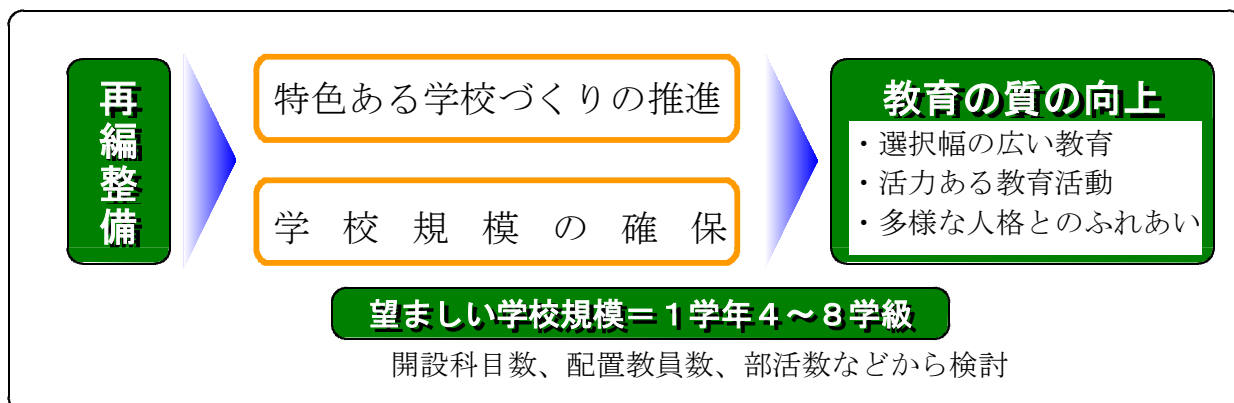
4-2 県立高校将来構想

本県の高等学校教育の一層の充実を図るため、今後の高等学校づくりの基本的な考え方や方向性を示した『県立高校将来構想』を平成17年3月に公表。



4-3 学校・学科の再編整備

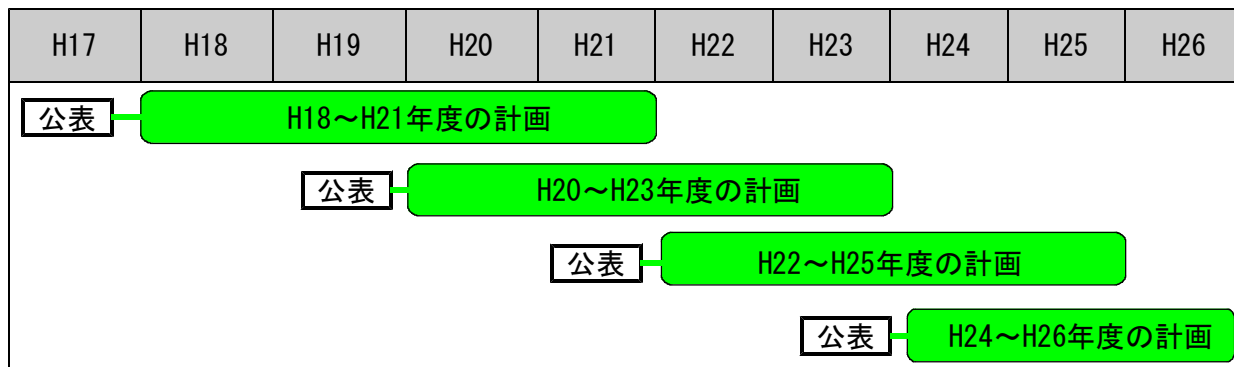
学校の小規模化が進んだ現状にあって、生徒の多様なニーズに対応した特色ある学校づくりを進め、より質の高い教育を実現するには、望ましい学校規模の確保をめざした再編整備が必要。



4-4 県立高校再編整備計画

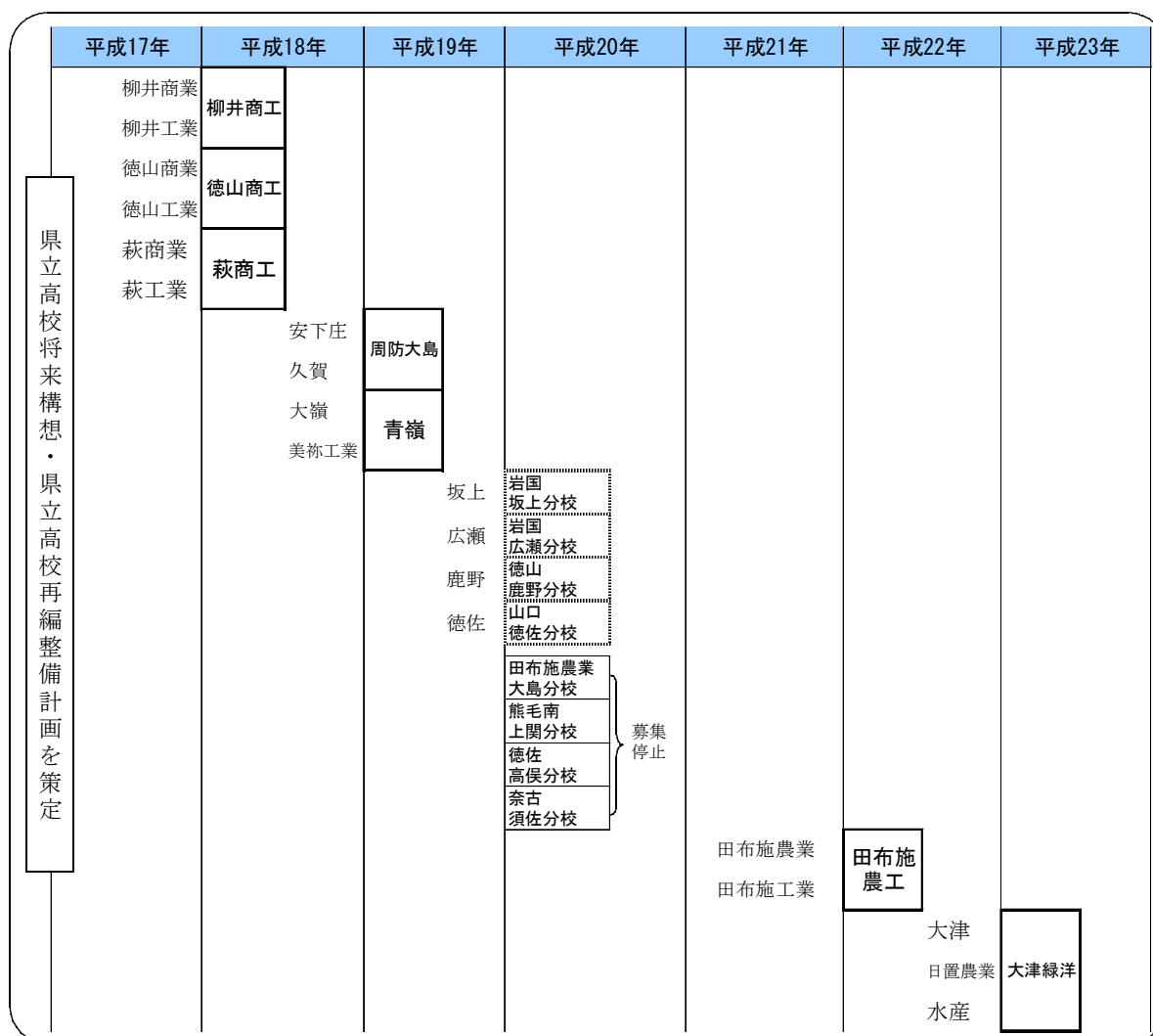
- 平成17年9月に『県立高校再編整備計画』（基本計画）及び『県立高校再編整備計画（平成18年度～平成21年度計画）』（実行計画）を策定・公表。
- 実行計画は、4年単位で作成し、2年毎に見直し。
- 中学生への早期情報提供のため、各年度の実施分を、原則として入学定員発表前に公表。

※数字は年度



4-5 これまでの再編整備

:再編統合
 :分校化
 :募集停止



山口県内高等学校等一覧 (平成22年度募集)

※表中★を付した学校は、「単位制」です。

※表中☆を付した学校は、「中高一貫教育校」で、以下のとおり連携型と併設型があります。

連携型中高一貫教育校	併設型中高一貫教育校
<ul style="list-style-type: none"> 周防大島高校 (連携中学校: 周防大島町立久賀中学校、周防大島町立大島中学校、周防大島町立東和中学校、周防大島町立安下庄中学校) 美祢高校 (連携中学校: 美祢市立美東中学校、美祢市立秋芳南中学校、美祢市立秋芳北中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> 高森高校 (併設中学校: 県立高森みどり中学校) 高水高校 (併設中学校: 高水高等学校附属中学校) 山口県桜ヶ丘高校 (併設中学校: 晃英館中学校) 高川学園高校 (併設中学校: 高川学園中学校) 野田学園高校 (併設中学校: 野田学園中学校) 慶進高校 (併設中学校: 慶進中学校) 宇部フロンティア大学付属香川高校 (併設中学校: 宇部フロンティア大学付属中学校)

高等学校

(全日制課程)

◆普通科設置校

設置者別	学校名	定員	設置者別	学校名	定員	設置者別	学校名	定員
県立	周防大島国	105	県立	山口中央	200	私立	高柳井学園	☆ 430
	岩国	280		山西 (体育コース)	160		山口県桜ヶ丘	☆ 240
	// 坂上分校	40		// 宇部中央	240		誠川学園	☆★ 150
	// 広瀬分校	40		宇部野田	200		高野村女子	☆★ 90
	高柳森井	120※		小厚美	160		中野田学園	☆ 270
	柳井南	200		厚美	120		山口県鴻城	170
	熊毛	120		青田	70		宇部鴻城	150
	光	160		豊田	70		慶進	☆ 180
	下華	180		西	40		成進	50
	熊徳	80		豊	35		宇部フロンティア大学附属	☆ 150
徳	35	下	280	サビ工	105			
// 鹿野分校	40	関	70	下関国際	40			
徳新	70	豊	200	梅光女学院	80			
防山	160	大	80	早	270			
佐南	280	萩	120	下関短期大学付属	60			
// (福祉コース)	35	奈	140	長	120			
山	280		30	萩光塩学院	120			
// 徳佐分校	40							

※高森高校の定員は120人ですが、募集人員は、高森高校と中高一貫教育を実施している高森みどり中学校(1学年40人)からの入学者数を差し引いた人数となります。

◆専門学科設置校

〈理数〉

設置者別	学校名	定員
県立	岩国	40
	徳山	40
	山口	40
	宇部	40
	下関	40
萩	35	

〈英語〉

設置者別	学校名	定員
県立	華陵	40
私立	梅光女学院	30

〈音楽〉

設置者別	学校名	定員
私立	梅光女学院	20
私立	下関短期大学付属	20

〈商業〉

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	岩国商業	総合ビジネス (80) 国際情報 (40)
	柳井商工	ビジネス情報 (80)
	徳山商工	総合ビジネス (40) 情報ビジネス (40)
	防府商業	商業 (80) 情報処理 (40) 国際経済 (40)
	西京	会計OA (40) 情報処理 (40)
市立	宇部商業	商業 (120) 情報利用技術 (40)
	萩商工	総合ビジネス (40) 情報デザイン (40)
市立	下関商業	商業 (200) 情報処理 (40)
私立	聖光	総合ビジネス (40)
	山口県桜ヶ丘	商業 (40)
	誠英	情報会計 (40)
	中村女子	情報ビジネス (40)
	山口県鴻城	情報商業 (40)
私立	宇部鴻城	医療秘書 (30)
	成長進	総合ビジネス (30)
	長門	商業 (120)

〈農業〉

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	田布施農工	生物生産 (40) 食品科学 (40)
	山口農業	環境土木 (40) 食品工学 (40)
	西市	生物生産 (40) 環境科学 (40)
	日置農業	生活科学 (40) 生産流通 (35)
	奈古	生物生産 (30) 生活科学 (30)
	奈古	生物資源科学 (30)

〈工業〉

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	岩国工業	機械 (40) 電気 (40) 都市工学 (40) システム化学 (40)
	柳井商工	機械 (40) 建築・電子 (40)
	田布施農工	機械制御 (40)
	下松工業	システム機械 (40) 電子機械 (40)
	徳山商工	情報電子 (40) 化学工業 (40)
	南陽工業	機械 (40) 電子情報技術 (40)
	宇部工業	環境システム (40)
	小野田工業	電気 (40) 応用化学 (40)
	青嶺★	機械 (60) 電子機械 (40)
	下関中央工業	電気 (40) 化学工業 (40)
私立	下関工業	機械 (40) 情報科学 (40)
	萩商工	化学工業 (40)
	早鞆	機械 (40) 電気 (40)
私立	山口県桜ヶ丘	機械・造船 (40) ※ 建築 (40) ※ 土木 (40) ※ 化学工業 (40) ※
	宇部鴻城	機械 (80) 電気 (40) 電子 (40)
	下関国際	機械 (35) 電気 (35)
	早鞆	建設工学 (35)
私立	聖光	機械 (40)
	山口県桜ヶ丘	電気 (40)
私立	宇部鴻城	機械・自動車工学 (80) ※
	下関国際	電子機械 (80)
私立	早鞆	自動車工学 (40)

(表中、※を付した学科は「くくり募集」を行います。)

◆総合学科設置校

設置者別	学校名	定員
県立	岩国総合★	120
	光丘★	120
私立	防府西★	160
	宇部西★	160
	長府★	140
私立	高川学園★	160

(通信制課程)

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	山口★	普通 (360) 衛生看護 (40)
私立	聖光★	普通 (200)
	誠英★	普通 (200)
	成進★	普通 (240)
	下関国際★	普通 (80)
	長門★	普通 (80)
	精華学園★	普通 (300)
	(広域通信制)	

特別支援学校

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	岩国総合支援学校	普通 (22)
	田布施総合支援学校	普通 (41) 産業 (8)
	周南総合支援学校	普通 (14)
	徳山総合支援学校	普通 (22)
	防府総合支援学校	普通 (36)
	山口南総合支援学校	普通 (27)
	山口総合支援学校	産業情報 (8) 産業 (16)
	宇部総合支援学校	普通 (42)
	下関南総合支援学校	普通 (55) 産業 (8)
国立大学法人	下関総合支援学校	普通 (8)
	豊浦総合支援学校	保健医療 (8)
	萩総合支援学校	普通 (30) 産業 (8)
	山口大学教育学部 附属特別支援学校	普通 (22)
	普通 (22)	普通 (8)

〈水産〉

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	水産	海洋技術 (30) 海洋科学 (30)

〈家庭・看護・福祉等〉

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	周防大島★	福祉 (35)
	熊毛北府	ライフデザイン (35)
私立	厚狭部	衛生看護 (40)
	田部	総合家庭 (40) 総合生活 (40)
私立	柳井学園	衛生看護 (40)
	誠英	福祉 (40)
	中村女子	調理 (40) 福祉 (40) 看護 (40)
	山口県鴻城	衛生看護 (40)
	宇部フロンティア	生活デザイン (40)
	早鞆	食物調理 (39) 保育 (40) 生活クリエイト (40) 衛生看護 (40)
下関短期大学付属	くらしデザイン (30)	

(定時制課程)

設置者別	学校名	学科名 (定員)
県立	岩国商業・東分校★	普通・昼間部 (40) 普通・夜間部 (40)
	光	普通 (40)
	下松工業	機械 (40)
	徳山	普通 (40)
	防府商業	普通 (40)
	山口	普通 (40)
	宇部中央	普通 (40)
	宇部工業	機械 (40)
	小野田	普通 (40)
	厚狭部	商業 (40)
市立	小野田工業	機械 (40)
	下関西	普通 (40)
	下関工業	機械 (40)
市立	下関商業	商業 (40)

高等専修学校

設置者別	学校名	学科名 (定員)
私立	立修館	福祉 (10) 経理情報 (20) 高等 (ファッション・きもの) (15)

高等専門学校

設置者別	学校名	学科名 (定員)
国立	宇部工業	機械工学 (40) 電気工学 (40) 制御情報工学 (40)
	徳山工業	物質工学 (40) 経営情報学 (40)
	大島商船	機械電気工学 (40) 情報電子工学 (40) 土木建築工学 (40)
		商船学 (40) [航海コース20程度] [機関コース20程度] 電子機械工学 (40) 情報工学 (40)

平成22年度の通学区と 山口県の高等学校等所在地図

- 国立校 ▲ 県立校 ▲ 市立校 ▲ 県立校分校
- 私立校 ● 高等専修学校 ■ 高等産業技術学校



○通学区の各学区において、志願できる普通科高校は24ページの通学区表に示しています。

※これは、平成22年4月以降の予定を示しています。
 ※公立高等学校入学選抜に係る通学区域については、実施要領やホームページ等で、最新のものを確認してください。

* <http://www.yasn21.jp/s-navi/kyouiku/>
 「中学生のための学校紹介」内の「通学区域について」を参照